



MDRPUを発生させない! 予防的ケアの実践例

政田 美喜さん

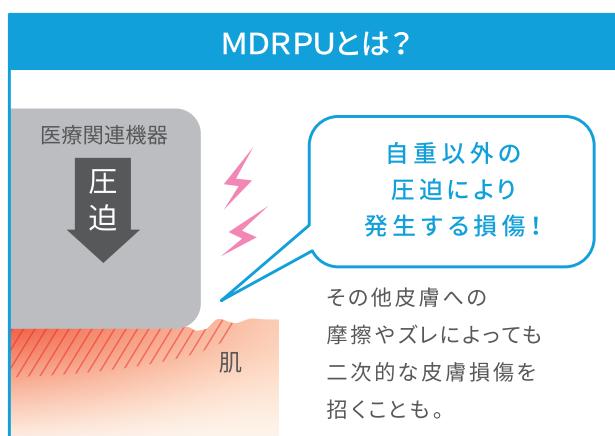
三豊総合病院 皮膚・排泄ケア認定看護師

当院は、地域拠点病院として、地域救命救急センター、循環器病センターなど急性期医療から老健施設・居宅介護支援事業所を有し、在宅医療や地域介護・福祉へ繋げる地域完結型医療を提供する医療機関として個々の患者様のニーズにあわせた医療を提供しています。



MDRPUとその対策のポイント

医療関連機器圧迫創傷（MDRPU）は、自重以外の圧迫が要因となり皮膚および皮膚粘膜移行部に生じた損傷です。MDRPU発生の原因となる身体への侵襲的治療（処置）には、クリティカル領域では人工呼吸器や非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）、体腔内留置カテーテル（PCPS, IABP, 胸・腹腔ドレーンや膀胱内留置カテーテルなど）にはじまり、経鼻管や末梢血管ルートなどの管理に伴う皮膚障害が問題となります。また、骨折などにより補装具を装着している・リハビリなどの靴など圧迫のみならず皮膚へ摩擦やすれにより二次的な皮膚損傷を招く事象がよく見受けられます。そうした問題を発生させない予防的ケアを実践し、二次的な皮膚損傷を回避することが重要となります。そのためには、ケア用品の特性を考慮し、問題解決に有効な用品使用と工夫的な使用を検討することが大切です。また、予防的に使用する上では、使用する対象者が多ければコストパフォーマンスの良い製品の使用を視野に入れていくことも重要となります。



今回 MDRPU 対策で
使用したのは
「ココロール」

- 必要な大きさにカットして使用できるほか、重ね貼りも可能なので看護師の裁量によって様々なケアの工夫が可能。
- 予防的ケア専用品のため、創傷被覆材と比較してコストパフォーマンスに優れる。

MDRPU好発部位への対策

症例

01 脇骨

使用箇所：弾性ストッキング下の脇骨の突出部
年齢・性別：76歳、男性

現 状

術後によく使用されるため、ストッキングの上から機械で加圧し過剰に圧がかかり、皮膚の損傷を招くことがあった。そのため弾力包帯で保護し、機械の使用をしていたが、ワーカロードの負担があった。着圧式ストッキングのみならず、逐次型空気圧式マッサージ器使用によるDVT予防を行い、皮膚障害を発生するケースが少なくない。



対 策 後

逐次型空気圧式マッサージ器を使用する場合は、弾力包帯へ変更せずにココロールの追加使用のみでワーカロードの負担軽減とコストダウンにもつなげられた。



point

剥れ防止のために更に上から
フィルム材の貼付を行う

貼付日を創処置同様に記載し、
定期的に皮膚の評価を行う

皮膚の状態に合わせて剥す方向の
矢印記載も明記する

症例

02 鼻部

使用箇所：NPPV・BIPAPマスク
年齢・性別：82歳、女性

現 状

- ▶皮膚保護をしても逆に段差ができ、エアーリークしてしまう。
- ▶マスク固定を強くすると痛みの訴えがある。
- ▶マスクの形状を変えるが皮膚刺激の部位が異なるため同様に皮膚の損傷を来す。
- ▶エアーリークによりマスク固定を強くしてしまい、潰瘍へ至ることが多い。
- ▶マスクの形状にそって特に強く圧迫される鼻部、前頸部、またはほうれい線に沿って発生しやすい。



対 策 後

創傷側には被覆材貼付されており、さらにココロールをマスク側へ貼付することで、マスクのずれが回避できた。組織のずれ回避に繋がり、疼痛軽減につながった。

【NPPV以外のマスクにも応用可能】



(カット例)



point

マスク側に使用する

マスクの幅より
やや広めにカットする

隙間を補正する場合は、ココロールを
2~3枚分重ねあわせて調整する

その他の使用例

足趾切断や足趾の皮膚損傷患者への体重負荷回避の工夫



靴の硬さなどを確認、
保護したい部位に差し込む



足先全体をカバーする
サイズを差し込む



セルフケア度清潔度などを
考慮して指先を包み込む

point



皮膚へ直接貼付する際は
貼付部位に合わせてスリットを入れる



厚みが欲しい場合は、
何枚も貼り合わせる

酸素カニュラの摩擦軽減



鼻孔下の皮膚が発赤
痛みの訴えあり。



カニュラにココロールを
上図のように貼付。
痛み消失、安楽へ。

膀胱留置カテーテルによる刺激の軽減



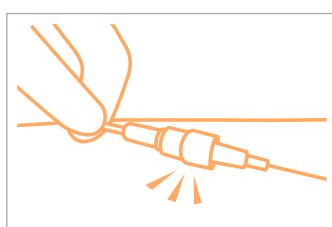
圧迫痕

刺激や圧迫による水疱形成
やハルンバッグとの接続部による圧迫。



ココロールをカテーテルに
巻き付けて貼付。
状況に応じて上から
フィルム固定する。

IVルート接続部の圧迫軽減



浮腫などにより皮膚損傷の
原因になる。



不織布ガーゼを接続部の
下へ、または被覆材の
使用⇒ココロールで代用

コストパフォーマンスを考えて、 使用用品をココロールに変える



コルセットの接触圧迫部位の調整
種々の補強材、被覆材⇒ココロールへ



鋼線牽引器具の圧迫
補強材⇒ココロールへ



頸部骨折後：架台による水疱形成や、
術前、術中の整復による水疱形成が考え
られる場合、事前にココロールを貼付。

●以上の内容は、あくまで予防対策の一例として紹介するものであり、効果を保証するものではありません。

skinix の製品が

あなたのチカラに
なります。

器具圧迫をやわらげる
“クッション・ドレッシング”

ココロール

器具のこすれや圧迫等からしっかり肌を守る、
薄くて弾力のある「クッション・ドレッシング」。
優れた通気性でムレやかぶれも起きにくく、
器具による肌ストレスを減らして、快適に器具を
使い続けられます。
痛みや赤みなどの肌異常が起きないように、
ぜひ器具をつける前に肌や器具に貼ってください。



ロール状なので
使用する
分だけカット!



詳しくは web サイトへ
www.skinix.jp/products/cocoroll/

ココロール 規格表

品名	規格	サイズ [*]	品名コード	個装			内装	外装	
				販売希望 小売価格	入数	JAN [4971620]		ケース	GTIN [14971620]
ココロール	No.50	50mm×2m	YB-27050	2,500円	1巻	892039	6巻	4箱	892036
	No.100	100mm×2m	YB-27100	4,200円	1巻	892046	4巻		892043

*販売希望小売価格には、消費税は含まれておりません。

テープが医療にできること、もっと。

skinix[®]

www.skinix.jp

株式会社 共和 メディカルグループ

大阪本社:〒557-0051 大阪市西成区橋3-20-28
TEL:06-6658-8217
FAX:06-6658-8101

東京支店:〒135-0016 東京都江東区東陽5-29-16
TEL:03-5634-3843
FAX:03-5634-3845

最新の
学術レポートは
こちらで公開中



https://www.skinix.jp/wisdom/report/

ZZ037 22.01-10,000 第2版